

音楽アーティスト科 アーティスト総合コース 受講科目一覧 2年次

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間

4 5 分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
実習	分野別実習Ⅱ（前期）	34	2	1
実習	分野別実習Ⅱ（後期）	34	2	1
講義	業界知識Ⅱ	72	2	4
演習	共同演習Ⅱ	68	2	4
講義	音楽理論/調音Ⅱ	68	2	4
講義	音楽史Ⅱ	68	2	4
実習	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	68	2	2
実習	歌唱/演奏実技Ⅱ	68	2	2
実習	サウンドアナライズⅡ	68	2	2
演習	アンサンブル基礎Ⅱ	68	2	4
演習	アンサンブル応用Ⅱ	68	2	4
実習	DAW・DTM基礎Ⅱ	68	2	2
実習	作品制作基礎Ⅱ	68	2	2
実習	作品制作応用Ⅱ	68	2	2
合計		888	26	38

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンドⅡ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	業界知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム/サウンドクリエイター/ヴォーカルパフォーマンス/ダンスパフォーマンス/アーティスト総合				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴					
授業概要	著作物の定義や著作権の権利及び著作隣接権について学び、それぞれの権利がどのような働きをしているのかを理解することが出来る。				
到達目標	音楽ビジネスの仕組みを知り、著作権にまつわる企業や団体がどのような役割を果たしているかを理解し、印税の仕組みや金額、著作権保護の条件や重要性についての理解を深める。				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	形のない知的財産について理解し、著作権を守る意義について理解する。 著作物の定義と著作物の種類を理解する 著作権の権利の内容を理解する 著作権の権利の支分権と内容を結びつけることが出来る ①
【前期】 4～7回目	著作権の権利の支分権と内容を結びつけることが出来る ② 著作隣接権の内容について理解する ① 著作隣接権の内容について理解する ② 音源の権利 原盤について理解する
【前期】 8～10回目	DVD視聴NHKスペシャル「知は誰のものか」インターネットにおける違法コピーと著作権の保護期間延長について 前回のDVDからの問題点のまとめ 著作権保護期間延長に関する作文 【作文提出】 音楽業界の基本構造① プロダクションの役割を理解する
【前期】 11～13回目	音楽業界の基本構造② レコード会社の役割を理解する 音楽業界の基本構造③ 音楽出版社の役割を理解する～著作権ビジネスの流れを理解する 音楽ビジネスの現状
【前期】 14～17回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 前期テスト実施 前期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善することができる。
【後期】 18～20回目	JASRACの役割について理解を深める 著作権管理事業の現状 JASRACの使用料徴収の是非について自分の意見をまとめ【作文作成&提出】
【後期】 21～24回目	印税の仕組みがどのようにになっているか理解出来るようになる レーベルの収益について理解することができる。 リカーブラインについて理解することができる。 CD以外の著作権使用料① インタラクティブ配信
【後期】 25～27回目	CD以外の著作権使用料② 動画投稿サイト CD以外の著作権使用料③ 放送～カラオケ CD以外の著作権使用料④ 演奏/上演とレンタル 私的録音補償金
【後期】 28～30回目	著作物の利用に関して 著作物の利用手続きと所有権と著作権の違いを理解する 著作物の自由利用の範囲について理解を深める 著作権侵害の行為と罰則について理解を深める
【後期】 31～34回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 後期テスト実施 後期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善することができる。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	前期では著作権の基本的な知識と音楽業界の中心となるプロダクション、レコード会社、音楽出版社の役割について学びます。 後期では主にJASRACの役割と印税について学びます。 JASRACに関しては、インターネット上で不確かな情報が飛び交っているのが現状ですが、自身で正しい判断が出来るような知識を身につけてください。 仕事内容の伝わりにくい業界ですので、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。
備考	HRも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オリジナルソング①Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	必修
	学則別表上表記	共同演習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68)単位時間	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 シンガーソングライター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	楽曲「小さな光」「少しだけ」「少年」などメジャーレーベルからCDをリリース。 自身もDUOでシンガーソングライターとして精力的にライブ活動を実施している。				
授業概要					
<p>作詞作曲に必要なアイデアを増やす。メロディー作り。コード進行の構築。リズムの種類に対する理解。作文ポエムに終わらないような歌詞作り。生徒自身が作成したオリジナル楽曲に対しての編曲をする。編曲における各種楽器の理解。</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> 生徒が作曲する作品の多くは、偏ったジャンル、かつ狭い範囲で制作されることがほとんどであるため、生徒が持ち合わせていないような、作詞作曲に関する知識、情報、テクニックを紹介し、センスの幅を広げてもらうこと。 生徒本人が持つ個性を自覚させ、その個性を武器として卒業後もその個性を追求しアーティストとして作品作りができるようにする。 オリジナル曲をボイスメモ弾き語りで完結させずPC上で管理し自身のプロモーション活動及びアレンジャー委託用のヘッドアレンジができるようにする。(T専は自身で簡易アレンジから完成まで、弾き専はアレンジャー用のVo.Ag等のベシットトラックをBPMで録音しアレンジのオーダーシートを提出) 各楽器の役割アプローチを理解する。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	オリジナル楽曲① ピックアップを用いたメロディと着地先のコード感という要素を認識して波長を感じる楽曲作り。
【前期】 4～7回目	オリジナル楽曲② 効果的なブレイクを大胆に用いた楽曲構成を意識して製作。
【前期】 8～10回目	オリジナル楽曲③ ライブ時の前後のラインナップを意識し楽曲の展開の仕方を体験。ステージのライブ感を増長させる。
【前期】 11～13回目	オリジナル楽曲④ サビのメロディモチーフを後奏で余韻として使用し、オーディエンスと共有できる作風。
【前期】 14～17回目	校内イベントライブ公演実習期間 前期の楽曲からアーティスト象を再考案し進路を定める。 ■前期試験:発表「クオリティ/技術力/知識力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	オリジナル楽曲⑤ J-popの枠からではなく、ルーツミュージックからの要素を引用した楽曲作り。
【後期】 21～24回目	オリジナル楽曲⑥ 楽曲間でバンドメンバーのコールをリレーできるような楽曲作り。
【後期】 25～27回目	オリジナル楽曲⑦ etc..と期間ごとに裏テーマを加味しながら、あくまでInput&Outputを有意義に繰り返して
【後期】 28～30回目	オリジナル楽曲⑧ 個々の成長を目指します。
【後期】 31～34回目	卒業イベントライブ公演実習期間
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「各リズムの体現・理解 / 歴史の理解 / 体の理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	1年次で得た基本的な技術を、センスに変えて表現していく1年。決して楽ではないですし、困難も立ちちはだかるかもしれませんが、成りたい自分と向き合っ、思いっきり表現することで得られる経験はあなただけの特別なものです。Let's Enjoy!
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オリジナルソング②Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	音楽理論/調音Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68)単位時間	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 シンガーソングライター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	楽曲「小さな光」「少しだけ」「少年」などメジャーレーベルからCDをリリース。 自身もDUOでシンガーソングライターとして精力的にライブ活動を実施している。				
授業概要					
<p>作詞作曲に必要なアイデアを増やす。メロディー作り。コード進行の構築。リズムの種類に対する理解。作文ポエムに終わらないような歌詞作り。生徒自身が作成したオリジナル楽曲に対しての編曲をする。編曲における各種楽器の理解。 「オリジナルソング①Ⅱ」授業の内容を更に応用と発展させ、オリジナル楽曲を高いクオリティで完成を目指す。</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> 生徒が作曲する作品の多くは、偏ったジャンル、かつ狭い範囲で制作されることがほとんどであるため、生徒が持ち合わせていないような、作詞作曲に関する知識、情報、テクニックを紹介し、センスの幅を広げてもらうこと。 生徒本人が持つ個性を自覚させ、その個性を武器として卒業後もその個性を追求しアーティストとして作品作りができるようにする。 オリジナル曲をボイスメモ弾き語りで完結させずPC上で管理し自身のプロモーション活動及びアレンジャー委託用のヘッドアレンジができるようにする。(T専は自身で簡易アレンジから完成まで、弾き専はアレンジャー用のVo.Ag等のベアシットトラックをBPMで録音しアレンジのオーダーシートを提出) 各楽器の役割アプローチを理解する。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	オリジナル楽曲① ピックアップを用いたメロディと着地先のコード感という要素を認識して波長を感じる楽曲作り。 「オリジナルソング①Ⅱ」の授業を元に応用・発展させた内容で授業を実施する。
【前期】 4～7回目	オリジナル楽曲② 効果的なブレイクを大胆に用いた楽曲構成を意識して製作。 「オリジナルソング①Ⅱ」の授業を元に応用・発展させた内容で授業を実施する。
【前期】 8～10回目	オリジナル楽曲③ ライブ時の前後のラインナップを意識し楽曲の展開の仕方を体験。ステージのライブ感を増長させる。 「オリジナルソング①Ⅱ」の授業を元に応用・発展させた内容で授業を実施する。
【前期】 11～13回目	オリジナル楽曲④ サビのメロディモチーフを後奏で余韻として使用し、オーディエンスと共有できる作風。 「オリジナルソング①Ⅱ」の授業を元に応用・発展させた内容で授業を実施する。
【前期】 14～17回目	校内イベントライブ公演実習期間 前期の楽曲からアーティスト象を再考し進路を定める。
【後期】 18～20回目	オリジナル楽曲⑤ J-popの枠からではなく、ルーツミュージックからの要素を引用した楽曲作り。 「オリジナルソング①Ⅱ」の授業を元に応用・発展させた内容で授業を実施する。
【後期】 21～24回目	オリジナル楽曲⑥ 楽曲間でバンドメンバーのコールをリレーできるような楽曲作り。 「オリジナルソング①Ⅱ」の授業を元に応用・発展させた内容で授業を実施する。
【後期】 25～27回目	オリジナル楽曲⑦ etc..と期間ごとに裏テーマを加味しながら、あくまでInput&Outputを有意義に繰り返して 「オリジナルソング①Ⅱ」の授業を元に応用・発展させた内容で授業を実施する。
【後期】 28～30回目	オリジナル楽曲⑧ 個々の成長を目指します。 「オリジナルソング①Ⅱ」の授業を元に応用・発展させた内容で授業を実施する。
【後期】 31～34回目	卒業イベントライブ公演実習期間
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「各リズムの体現・理解 / 歴史の理解 / 体の理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	1年次で得た基本的な技術を、センスに変えて表現していく1年。決して楽ではないですし、困難も立ちちはだかるかもしれませんが、成りたい自分と向き合って、思いっきり表現することで得られる経験はあなただけの特別なものです。Let's Enjoy!
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	弾語りの歴史と体系Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	音楽史Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68)単位時間	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 シンガーソングライター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・セイカ食品 シロクマ、ヴァーナル化粧品、アサカワ引越しセンター等のテレビCMコール ・シンガーソングライターとして、精力的にライブ活動を行い、CDもリリースしている。 				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の名曲を知り、コピー、歌唱。 ・時代背景から歌詞の内容を分析。 ・コード進行や、メロディーラインなど分析。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の曲などを分析することで、自分で作る曲に活かせるようになる。 ・過去の歌詞の歌い直しなどを昇華し、自分の歌い直しとして使えるようにする。 ・メロディーやコード進行などを自分の曲に活かせるようになる。 				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	1950年代の邦洋楽曲、ヒットチャート、時代背景の分析。楽曲のリズム、コード進行、歌詞の傾向などを分析、レクチャー。該当年代の楽曲の選定、コピー、演奏と歌唱、発表会実施。
【前期】 4～7回目	1960年代の邦洋楽曲、ヒットチャート、時代背景の分析。楽曲のリズム、コード進行、歌詞の傾向などを分析、レクチャー。該当年代の楽曲の選定、コピー、演奏と歌唱、発表会実施。
【前期】 8～10回目	1970年代の邦洋楽曲、ヒットチャート、時代背景の分析。楽曲のリズム、コード進行、歌詞の傾向などを分析、レクチャー。該当年代の楽曲の選定、コピー、演奏と歌唱、発表会実施。
【前期】 11～13回目	1980年代の邦洋楽曲、ヒットチャート、時代背景の分析。楽曲のリズム、コード進行、歌詞の傾向などを分析、レクチャー。該当年代の楽曲の選定、コピー、演奏と歌唱、発表会実施。
【前期】 14～17回目	学生任意の時代を意識したオリジナル楽曲の作成。作成した楽曲のディスカッション。発表会実施。 ■前期試験:楽曲の発表と筆記により「クオリティ/技術力/知識力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	1990年代の邦洋楽曲、ヒットチャート、時代背景の分析。楽曲のリズム、コード進行、歌詞の傾向などを分析、レクチャー。該当年代の楽曲の選定、コピー、演奏と歌唱、発表会実施。
【後期】 21～24回目	2000年代の邦洋楽曲、ヒットチャート、時代背景の分析。楽曲のリズム、コード進行、歌詞の傾向などを分析、レクチャー。該当年代の楽曲の選定、コピー、演奏と歌唱、発表会実施。
【後期】 25～27回目	2010年代の邦洋楽曲、ヒットチャート、時代背景の分析。楽曲のリズム、コード進行、歌詞の傾向などを分析、レクチャー。該当年代の楽曲の選定、コピー、演奏と歌唱、発表会実施。
【後期】 28～30回目	オリジナル楽曲の作成。作成した楽曲のディスカッション。発表会実施。
【後期】 31～34回目	1年間のまとめ。今後の楽曲制作、セルフマネジメントについて、ディスカッション。 ■後期試験:楽曲の発表と筆記により「クオリティ/技術力/知識力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「楽曲発表 / 知識力」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	古きを知り、新しきを生む。時代時代に合った楽曲が売れているのは確かです。 昔のサウンドが苦手な人も、たくさんメロディーやコード進行に触れることで、新しい曲として昇華できるかもしれません。 そんな出会いの機会と思っていただければ幸いです。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	映像演技		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 アーティスト総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	ドラマAD、音楽系マネージャー歴3年、俳優系マネージャー歴6年、映画アシスタントプロデューサー、タレントマネジメント歴23年経歴。その経験を活かし俳優養成コースにおける実践指導を行う。				
授業概要					
映像制作の基本システムを学び、それに適した基本的な演技テクニックを学ぶ					
到達目標					
基礎的な映像演技を学び、アドリブや個性的で豊かな表現力を身につける					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	専門用語から学ぶ映像制作のシステムについて
【前期】 4～7回目	専門用語から学ぶ映像制作の実習
【前期】 8～10回目	予告編撮影実習
【前期】 11～13回目	ミニドラマ撮影実習
【前期】 14～17回目	ミニドラマ撮影実習
【後期】 18～20回目	CM撮影
【後期】 21～24回目	MV撮影
【後期】 25～27回目	MV撮影
【後期】 28～30回目	MV撮影
【後期】 31～34回目	MV撮影
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「台詞回し/表情/表現力/アドリブ力/適応力」 の5項目の到達度を総合的に評価する。□
学生へのメッセージ	作品への参加意識と楽しさを学んで頂けたら幸いです
備考	業界用語集と都度準備したシナリオや絵コンテを使用

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ミュージカル		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏実技Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 アーティスト総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	福岡の演劇劇団に所属。俳優として20年間活動。東京、福岡などで現在も活動中。舞台演劇・TVドラマ・TVCMに自ら出演の他、CMナレーションや民放番組ナレーションも担当。俳優としての表現力と舞台経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
①作品製作を従軸とした授業を行う事で、役の心情や行動原理を理解すると共に、観客の視線を意識したミュージカル演技を習得していきます。また、他クラスと制作する事でよりクオリティの高い作品作りを目指します。②年間2本の舞台公演を実際の劇場で行う事により舞台制作における、役者としての立ち居振る舞いやテクニカルスタッフの動きなど学び、様々な方面からミュージカル・2.5次元というものを習得していきます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・役作りはもちろんのこと、作品内での自分の役回りや、ポジション、立ち位置など総合的に作品に関わる事の出来る一役者を目指す。 ・歌唱や殺陣などを舞台上で魅せる為の技術を身に付ける ・テクニカルの方々と共に制作する事により、舞台上での裏表での立ち振る舞い方を考える。 ・自身の役やダンス、殺陣、歌唱が作品内でどの様な演出効果を産むのかを考えられる役者となる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	基礎練歌唱レッスン(基礎練は全期通して行う)
【前期】 4～7回目	・ミュージカルの発声方法 ・2.5次元ミュージカル制作①
【前期】 8～10回目	・ミュージカルの所作①基本の立ち方、連続した動き ・2.5次元ミュージカル制作②
【前期】 11～13回目	・前期 授業内舞台発表① フィードバック
【前期】 14～17回目	・後期制作準備 ■前期試験: 課題曲歌唱。歌唱時の身体表現も共に評価する
【後期】 18～20回目	・ミュージカルの所作② ・ミュージカル制作①
【後期】 21～24回目	・衣装着付け ・ミュージカル制作②
【後期】 25～27回目	・ミュージカルの所作③コメディ・リリーフ ・2.5次元ミュージカル制作③
【後期】 28～30回目	授業内舞台発表会② フィードバック
【後期】 31～34回目	■後期試験: 課題曲歌唱。歌唱時の身体表現も共に評価する
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。学期末に実施する実技試験により「平常点/読解力/表現力/歌唱力/空間把握」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ミュージカルや2.5次元作品は根強い人気があります。だからこそ各事務所が制作したがり尚且つ全体的なレベルも高くなっていますし、舞台出演の機会が増えてきています。需要が高い分野において自分がどのようにアプローチしていくのか、年2回の舞台発表をしていって、この1年間で見つけていきましょう。
備考	都度用意した原稿・戯曲・CDを使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	シンガーソングライター実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	サウンドアナライズⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68)単位時間	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 シンガーソングライター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・セイカ食品 シロクマ、ヴァーナル化粧品、アサカワ引越しセンター等のテレビCMコール ・シンガーソングライターとして、精力的にライブ活動を行い、CDもリリースしている。				
授業概要	実践を想定して各自テーマ毎に課題曲(主にオリジナル)を決め、歌唱力、演奏力、表現力を高めていきます。また、他生徒の楽曲にもコーラス・楽器演奏等で参加し、音楽の幅を広げます。				
到達目標	・楽曲の構成や「歌詞」「メロディー」「コード」「リズム」「ダイナミクス」から表現の意図を理解する。 ・自身の個性(良し悪し)を自ら理解する。 ・課外ステージでも披露できる楽曲(持ち曲)を増やす。 ・楽曲の構成や表現の意図を理解することで、作詞、作曲、編曲時に推敲することができる。 ・自ら気づきを持つことで、自身を高め続けることができる。 ・他パートやリスナーへ、自身の考えや曲のイメージを伝えることができる。				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	授業趣旨の共有、理解。【課題曲①】楽曲考察。資料作成。【課題曲①】アレンジを数パターン思考。弾き語り(もしくは自作音源)にて、各アレンジで演奏。表現効果の考察。歌唱、表現の練習。♫プロのカバー音源を参考に、アーティスト研究。
【前期】 4～7回目	【課題曲②】各自曲決め、キー設定、楽曲考察。資料作成。【課題曲②】アレンジ思考。弾き語り(もしくは自作音源)にて楽曲のベース作り。歌唱、リズム練習。【課題曲②】他パートへ思考を伝え、表現、歌唱の練習。表現効果考察。
【前期】 8～10回目	【課題曲③】各自曲決め、キー設定、楽曲考察。資料作成。【課題曲③】アレンジ思考。弾き語り(もしくは自作音源)にて楽曲のベース作り。歌唱、リズム練習。【課題曲③】他パートへ思考を伝え、表現、歌唱の練習。表現効果考察。
【前期】 11～13回目	【課題曲④】各自曲決め、キー設定、楽曲考察。資料作成。【課題曲④】アレンジ思考。弾き語り(もしくは自作音源)にて楽曲のベース作り。歌唱、リズム練習。【課題曲④】他パートへ思考を伝え、表現、歌唱の練習。表現効果考察。
【前期】 14～17回目	前期テストに向けて、楽曲決め、キー設定、資料作成。アレンジ思考。弾き語り(もしくは自作音源)にて楽曲のベース作り。歌唱、リズム練習。表現効果考察。 ■前期試験:課題曲の歌唱・演奏により「楽曲の理解 / 表現力 / 演奏力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲⑤】各自曲決め、キー設定、楽曲考察。資料作成。【課題曲⑤】アレンジ思考。弾き語り(もしくは自作音源)にて楽曲のベース作り。歌唱、リズム練習。【課題曲⑤】他パートへ思考を伝え、表現、歌唱の練習。表現効果考察。
【後期】 21～24回目	【課題曲⑥】各自曲決め、キー設定、楽曲考察。資料作成。【課題曲⑥】アレンジ思考。弾き語り(もしくは自作音源)にて楽曲のベース作り。歌唱、リズム練習。【課題曲⑥】他パートへ思考を伝え、表現、歌唱の練習。表現効果考察。
【後期】 25～27回目	【課題曲⑦】各自曲決め、キー設定、楽曲考察。資料作成。【課題曲⑦】アレンジ思考。弾き語り(もしくは自作音源)にて楽曲のベース作り。歌唱、リズム練習。【課題曲⑦】他パートへ思考を伝え、表現、歌唱の練習。表現効果考察。
【後期】 28～30回目	【課題曲②～⑦】実践を想定し、各20分程のクラスライブを実施。これまでの課題曲を含めた複数の楽曲とMCを交え、ステージングを習得する。
【後期】 31～34回目	後期テストに向けて、楽曲決め、キー設定、資料作成。アレンジ思考。弾き語り(もしくは自作音源)にて楽曲のベース作り。歌唱、リズム練習。表現効果考察。1年のまとめ。 ■後期試験:課題曲の歌唱・演奏により「楽曲の理解 / 表現力 / 演奏力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「楽曲の理解 / 表現力 / 演奏力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	昨今のシンガーソングライターの在り方は様々です。楽曲を通して何を伝えたいのか、伝えたいことをどう表現するのか、その内容や方法は無限に存在します。自身の考えを模索しながら、「これだ!」というオリジナリティを見つけていきましょう。そのイメージを相手に伝えることも、音楽に限らず重要です。身につけましょう。自分にあった伝え方が必ずあります。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オリジナルライブ実習Ⅱ①		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル基礎Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68)単位時間	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 シンガーソングライター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	『Make Me』でデビュー。2枚目となるシングル『Precious Story／タカラモノ』をリリースし、発売後、ユニバーサルホームのテレビCMにも起用された。 CDリリースは約束の場所へ / UNION・ボクたちのホームラン / 福岡ソフトバンクホークス オリジナル演出曲集など。 ラジオパーソナリティー・LOVE FM(過去担当番組:「So High!」「Music Primary」「Life Time Melody」)も行う。				
授業概要					
製作系の授業を通してアウトプットしたオリジナル楽曲を、バンドアンサンブルを用いて実演、歌唱し、アーティスト像を形成していく。また他の楽器プレイヤーとのリレーションを理解し行動していくことで人間関係の構築の仕方なども磨いていく。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・アーティスト像を前面に押し出すためのパフォーマンスを意識したライブ感(バンドサウンドのダイナミクス、希望する照明の演出を含めて)を追求し研鑽する。 ・楽曲のバリエーションを多岐に渡らせ、オーディエンスを飽きさせないサウンド志向を自身のアーティスト象とパッケージングする。 ・校外に出て活動をする際に、どの業種の人材と関わる際にも、準備、段取りを大事にする姿勢を完成させる。(自身の作る作品が他人の仕事を作るエンターテインメントありうる事を自覚させる。) 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	オリジナル楽曲① ※随時、実習時のパフォーマンステーマは製作のテーマとリンクしますので別紙で確認。
【前期】 4～7回目	オリジナル楽曲②
【前期】 8～10回目	オリジナル楽曲③
【前期】 11～13回目	オリジナル楽曲④
【前期】 14～17回目	校内イベントライブ公演実習期間
【後期】 18～20回目	オリジナル楽曲⑤
【後期】 21～24回目	オリジナル楽曲⑥
【後期】 25～27回目	オリジナル楽曲⑦
【後期】 28～30回目	オリジナル楽曲⑧
【後期】 31～34回目	卒業イベントライブ公演実習期間
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティ / 表現力 / 演奏力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	1年次からすれば、オリジナルソングの製作ペースがかなり早いですし、大変ですが前向きに頑張りましょう！！
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オリジナルライブ実習Ⅱ②		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル応用Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68)単位時間	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 シンガーソングライター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	『Make Me』でデビュー。2枚目となるシングル『Precious Story／タカラモノ』をリリースし、発売後、ユニバーサルホームのテレビCMにも起用された。 CDリリースは約束の場所へ / UNION・ボクたちのホームラン / 福岡ソフトバンクホークス オリジナル演出曲集など。 ラジオパーソナリティー・LOVE FM(過去担当番組:「So High!」「Music Primary」「Life Time Melody」)も行う。				
授業概要					
製作系の授業を通してアウトプットしたオリジナル楽曲を、バンドアンサンブルを用いて実演、歌唱し、アーティスト像を形成していく。また他の楽器プレイヤーとのリレーションを理解し行動していくことで人間関係の構築の仕方なども磨いていく。 ※アンサンブル基礎Ⅱの二コマ目として実施					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・アーティスト像を前面に押し出すためのパフォーマンスを意識したライブ感(バンドサウンドのダイナミクス、希望する照明の演出を含めて)を追求し研鑽する。 ・楽曲のバリエーションを多岐に渡らせ、オーディエンスを飽きさせないサウンド志向を自身のアーティスト象とパッケージングする。 ・校外に出て活動をする際に、どの業種の人材と関わる際にも、準備、段取りを大事にする姿勢を完成させる。(自身の作る作品が他人の仕事を作るエンターテインメントありうる事を自覚させる。) 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	オリジナル楽曲① ※随時、実習時のパフォーマンステーマは製作のテーマとリンクしますので別紙で確認。
【前期】 4～7回目	オリジナル楽曲②
【前期】 8～10回目	オリジナル楽曲③
【前期】 11～13回目	オリジナル楽曲④
【前期】 14～17回目	校内イベントライブ公演実習期間
【後期】 18～20回目	オリジナル楽曲⑤
【後期】 21～24回目	オリジナル楽曲⑥
【後期】 25～27回目	オリジナル楽曲⑦
【後期】 28～30回目	オリジナル楽曲⑧
【後期】 31～34回目	卒業イベントライブ公演実習期間
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティ / 表現力 / 演奏力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	1年次からすれば、オリジナルソングの製作ペースがかなり早いですし、大変ですが前向きに頑張りましょう！！
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	DAW II		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	DAW・DTM基礎 II	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	メタルバンド「ANOTHER STREAM」(アナザーストリーム)にてインディーズデビュー。国内外から様々な評価を得つつ2012年に脱退。 2013年よりレコーディングエンジニア・アレンジャーとしてのキャリアを開始し、メジャーアーティストを始め様々なアーティストのレコーディング、編曲などに参加。				
授業概要					
<p>作詞・作曲に必要なアイデアを増やす。メロディー作り。コード進行の構築。リズムの種類に対する理解。作文・ポエムにならないような歌詞作り 生徒自身で作成したオリジナル楽曲に対して編曲をする。編曲における各種楽器の理解、logicX及びPC(Mac)操作</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> 生徒が作曲する作品の多くは偏ったジャンル、かつ狭い範囲で制作することが殆どである為、生徒が持ち合わせていない作詞作曲に関する知識、情報、テクニックを紹介し、センスの幅を広げてもらうこと。 生徒本人が持つ個性を自覚し、その個性を武器として、卒業後もその個性を追求し、アーティストとして作品作りが出来るようにする。 オリジナル曲をボイスメモ引き語りで完結させず、logicX上で管理し、自身のプロモーション活動及びアレンジャー委託用のヘッドアレンジを出来るようにする。 logicXの操作習得、自身オリジナル曲のファイル管理、各楽器の役割アプローチを理解する。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ミディアムテンポで楽曲作成：イーブンやシャッフルの意識を再確認してもらう。作詞にて、景色と気持ちのバランス、慣用句の使いかた、固有名詞を入れるポイント
【前期】 4～7回目	アップテンポで楽曲制作：ハイテンポにおけるコードの適切な配置、ブレイクやキメなどのリズムの仕掛け作り。歌詞、ワードに対するポジティブとネガティブの切り分け、スピード感のある言葉とは。
【前期】 8～10回目	スローテンポ(バラード)で楽曲作成：バラードにおけるストリングスの使い方。1/16・1/32のクオンタイズの切り替え。6/8拍子で楽曲作成：スロー3連。logicXにて、テンポチェンジ、拍子チェンジのやり方
【前期】 11～13回目	マイナーkeyで楽曲制作：メジャースケール、マイナースケールのおさらい。ハーモニックマイナー、メロディックマイナー、マイナーペンタトニック。II m→Vの実践的な使い方。
【前期】 14～17回目	シャッフルビートで楽曲制作：8ビートシャッフル16ビートシャッフルの実践的な違い。I、ΔIVΔ7、VIImのトニックに関する解説と実践方法。「ラブソングのどこを切り取るのか？」について考えてみる ■前期試験：楽曲の制作により「作曲クオリティ/編曲の理解/DAW操作の理解/Mixクオリティ」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	ロックンロールで楽曲制作：ロックンロールの定義についての研究。ロックとロックンロールの違いについて、ギターとピアノのロックンロールアプローチの解説。歌詞：ライミングについて。母音を合わせるタイミングについて
【後期】 21～24回目	R&Bで楽曲制作：昨今のリズムアンドブルースについて、踊れるビートとはなにか？ベースとキックのシンクロについて再認識。音価、ノートOFFのコントロール。
【後期】 25～27回目	ボサノヴァで楽曲制作：ボサノヴァの文化について、J-Popにおけるボサノヴァの使われ方。ボサノヴァとサンバの違いについて理解する。モンツウノ奏法について。ウイスパーボイスなど、楽曲に合わせた発声を研究する。
【後期】 28～30回目	レゲエで楽曲制作：レゲエの歴史について。黒レゲエ、白レゲエの違い。裏拍、バックビートの使い方。ギターの音色について、クリーン、クランチ、オーバードライブ、ディストーション、ファズ。
【後期】 31～34回目	jazzで楽曲制作：ジャズの種類、ビックバンド、スタンダード、モダン、ビバップなど。スイングの概念について。モードスケール・オルタードスケールの実践的な使い方。セカンダリドミナントの実践的な使い方。 ■後期試験：楽曲の制作により「作曲クオリティ/編曲の理解/DAW操作の理解/Mixクオリティ」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「制作楽曲のクオリティ / 制作意欲」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	とにかく作曲の数をこなすこと(アウトプット)も大切ですが、インプットも大切です。特にリファレンス曲がリファレンス曲たる所以を、しっかり分析することも行ってください。自身の楽曲を客観的に捉えられるようになること。主観も大切ですが、特に客観性の強化、世の中の感性と自身の感性との誤差を客観的に捉えられようになることが商業作家として重要な事項の一つになると思います。そのあたりを念頭にオリジナル曲作りに励んでください。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタジオワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	作品制作基礎Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68)単位時間	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	自身のバンドにてギター、ボーカル、作編曲等担当し福岡最大級のSunset Liveを始め、様々なフェスに出場経験がある。約2400組参加のオーディションにて入賞経験もあり。現在は自身のバンド含め、様々なアーティストに編曲やギターアレンジ等で参加している。				
授業概要					
基礎課程で積み上げてきた知識、技能の総体としてクリエイティブな応用実践で音楽やパフォーマンス作品を作り上げていきます。また、グループプロジェクトとして企画、打合せ、譜面制作、リハーサル、レコーディング、ステージ本番に至るスケジューリングを行い、構成員の考えや芸術観などお互いに接続しながらより良い制作の方法を考えることにも重点を置きます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> エンターテインメントの基本構造の理解、表現学習、作品制作、ステージ発表などを習得のサイクルとし、徐々に表現レベルを上げていきます。 メンバー全員でひとつのプロジェクトを作ることを経験し、今後の活動に生かすことが出来るようにし、且つクオリティーの高い楽曲制作と演奏が出来るようにシミュレーションを重ねます。 自身のポテンシャルを高めて、将来的な可能性の幅を広げることが可能になります。 チームワーク、協調性を養います。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	決められたメンバーと協力し合い、ひとつのプロジェクトを作り、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【前期】 4～7回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【前期】 8～10回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【前期】 11～13回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【前期】 14～17回目	前期の授業で制作してきた作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■前期試験: 作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	後期はより高度なプロジェクトコンセプトをグループごとに思考し、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【後期】 21～24回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【後期】 25～27回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【後期】 28～30回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【後期】 31～34回目	後期の授業で制作した作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■後期試験: 作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一作品をグループで作り上げるプロセスの中で生じる葛藤や苦悩という生みの苦しみを経験しながら、作品完成時に感じる達成感や喜びを授業を通してシミュレーションしておきましょう。また基礎課程で培ったパーツを組み合わせる応用課程のクリエイティビティも存分に発揮してください。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オリジナルワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	作品制作応用Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68)単位時間	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	自身のバンドにてギター、ボーカル、作編曲等担当し福岡最大級のSunset Liveを始め、様々なフェスに出場経験がある。約2400組参加のオーディションにて入賞経験もあり。現在は自身のバンドを含め、様々なアーティストに編曲やギターアレンジ等で参加している。				
授業概要					
オリジナルワークⅡ同様、基礎課程で積み上げてきた知識、技能の総体としてクリエイティブな応用実践で音楽やパフォーマンス作品を作り上げていきます。また、グループプロジェクトとして企画、打合せ、譜面制作、リハーサル、レコーディング、ステージ本番に至るスケジューリングを行い、構成員の考えや芸術観などお互いにコンネクトしながらより良い制作の方法を考えることにも重点を置きます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルワークⅡでの内容を更に応用し制作していきます。 ・エンターテインメントの基本構造の理解、表現学習、作品制作、ステージ発表などを習得のサイクルとし、徐々に表現レベルを上げていきます。 ・メンバー全員でひとつのプロジェクトを作ることを経験し、今後の活動に生かすことが出来るようにし、且つクオリティーの高い楽曲制作と演奏が出来るようにシミュレーションを重ねます。 ・自身のポテンシャルを高めて、将来的な可能性の幅を広げることが可能になります。 ・チームワーク、協調性を養います。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	決められたメンバーと協力し合い、ひとつのプロジェクトを作り、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【前期】 4～7回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【前期】 8～10回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【前期】 11～13回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【前期】 14～17回目	前期の授業で制作してきた作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■前期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	後期はより高度なプロジェクトコンセプトをグループごとに思考し、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【後期】 21～24回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【後期】 25～27回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【後期】 28～30回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【後期】 31～34回目	後期の授業で制作した作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■後期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一作品をグループで作りに上げるプロセスの中で生じる葛藤や苦悩という生みの苦しみを経験しながら、作品完成時に感じる達成感や喜びを授業を通してシミュレーションしておきましょう。また基礎課程で培ったパーツを組み合わせる応用課程のクリエイティビティも存分に発揮してください。
備考	